

# 紅葉色づく秋。日本一の里山・黒川で秋を満喫しませんか?



黒川の紅葉

©もへろん

## 黒川ダリヤ園

2001年(平成13年)に山形県川西町から友好親善の一環としてダリヤの球根を寄贈されたことがきっかけで育成を始めました。市内数箇所で少しずつ植え付け、球数を増やしていましたが2004年(平成16年)に山形県川西町とよく似た立地の黒川地区を本格的なダリヤの育成地として選び、2005年(平成17年)の秋に正式に開園。毎年種類や球数を増やし大切に育てています。ダリヤは種類の多い花で、現在世界中で約3万種類以上のダリヤが存在しますが、ここ黒川では花の色・大きさ・形などの異なる約350種・1300株が咲き誇り、多くの方が観賞に訪れます。

- 住所／兵庫県川西市黒川字落合389番地
- 開園期間／9月16日(金)～11月3日(木・祝)
- 交通／妙見口駅から徒歩45分(黒川ダリヤ園開園中の日・祝日のみ黒川ダリヤ園行きバスあり)
- お問い合わせ／072-740-1185



## 旧川西市立黒川小学校(黒川公民館)

北校舎は明治37年に建築され、1世紀以上の歴史を誇ります。(南校舎は昭和22年に建築)今では珍しい板張りの廊下で風情あふれる木造校舎です。児童数の減少により昭和52年に休校となりましたが、現在では黒川公民館としてその姿を残しています。平成21年度兵庫県指定景観形成重要建造物に指定されました。学校文化・地域文化、また民俗学的にも貴重な生き証人という大変貴重な建物といえます。

- 住所／兵庫県川西市黒川字谷垣内295番地
- お問い合わせ／072-738-0107



## 黒川ファーム

黒川地区で収穫された新鮮な農産物やお米やおこわなどを販売しています。品質が良く、安い農産物に県内外からの利用客があり、すぐに売り切れてしまうほどの盛況ぶりです。ベテラン農家の野菜作りの知恵と経験を生かし、住民が一丸となって地域活性化に取り組んでいます。

- 住所／兵庫県川西市黒川字長谷110-9
- 営業日／毎週土・日曜日
- 時間／8:30頃～正午(売切れ次第終了)
- お問い合わせ／080-2447-0030(土・日曜日の午前9時から正午のみ)



## 平成23年度黒川里山まつり

「黒川の里山を「知る」「巡る」「伝える」」をテーマに開催されます。地元黒川地区で収穫された新鮮な野菜の直売や、黒川公民館近くの窯で作った焼きたてのピザの販売などがあります。また、妙見口駅から各会場へ案内する「黒川里山まつりウォーク」や、一庫公園内で実施される「里山クイズラリー」など、一日で里山の魅力を目一杯体感できるプログラムが盛りだくさん!この機会に、黒川の自然を満喫してください。

- 開催日／10月30日(日)
- 時間／10:00～15:00
- 場所／黒川公民館とその周辺、一庫公園、妙見の水広場など
- 交通／(メイン会場)妙見口駅から徒歩45分または阪急バス黒川ダリヤ園行き「黒川公民館」バス停下車すぐ
- お問い合わせ／072-738-0267



秋は紅葉の季節。ダリヤが咲き誇る日本一の里山・黒川地区で紅葉狩りやダリヤ鑑賞、新鮮な野菜の購入など、今しかできない体験はいかがですか?古き良き伝統の残る町・黒川へぜひお越し下さい。

## 里山の景観

里山とは、人が生活に必要な炭や薪などの燃料に使うため、定期的に伐採・利用される山(二次林)のことをいいます。里山林では、十数年の周期で伐採・萌芽再生(切り株から新しい芽を出して樹木を再生)を繰り返します。そのため、里山林全体はモザイク状の景観となります。炭や薪を利用しなくなった現在では国内の里山林は放置され、その独特的な景観も見られなくなりました。本当の意味で

の里山はほとんどの地域で絶滅しましたが、当地域の里山は千利休や豊臣秀吉などが用いたとの伝承もある菊炭を今もなお生産しており、里山景観が維持されている貴重な地域で「日本一の里山」と言われています。この季節は、紅葉をきれいに見ることができます。

## 一庫炭と炭焼窯跡

一庫炭は、川西市の特産品の一つです。黒川地区は、炭の原材料となる良質のクヌギが入手しやすいことから、室町時代ごろから炭焼きが盛んに行われるようになりました。最盛期には約40軒にのぼっていた炭焼き農家は、都市化によって衰退し、今では、1軒の農家が伝統技術を守り続けています。材料は樹齢8年から10年のクヌギやカシの若木。焼き上がった炭の断面が菊割れ(菊の花びらのように見える)することから、「菊炭」と、また集積地が大阪府の池田市だったため「池田炭」とも呼ばれています。火付きと火持ちはよく、また、たち消えしにくい特徴があり、12月中は主に初釜用として、その他はお茶席用の高級炭として京阪神の問屋を通じて全国に出荷されています。炭焼きは12月から5月頃まで続けられています。徳林寺の近くには、以前、実際に使用していた炭焼窯の跡が残っています。



## 吉川八幡神社

今から約940年あまり前に源頼仲によって創建されたと伝えられています。1974年(昭和49年)に老朽化した本殿が修理され、同時に拝殿と社務所が新築されました。境内には豊能町保護樹林第一号のツブラジイ(椎の木の一種)が生い茂り、樹齢約400年と推定されています。



- 住所／大阪府豊能郡豊能町吉川1936
- お問い合わせ／072-737-1166



## 沿線情報紙「のせでん」クイズ!

- 問題① 9月16日から黒川地区で開園するのは何園でしょう?  
Aバラ Bダリヤ Cチューリップ Dコスモス

- 問題② 川西市特産の一庫炭の別名は何でしょう?  
A牡丹炭 B百合炭 C椿炭 D菊炭

■応募方法／はがきに住所、氏名、年齢、問題の答え(問題①～、問題②～)と、沿線情報紙「のせでん」へのご意見、ご感想などをご記入の上、下記へお送り下さい。正解者のなかから抽選で「のせでんオリジナルグッズ」を5名様にプレゼントします。

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

■送り先／〒666-0121 兵庫県川西市平野1-35-2 能勢電鉄株式会社・沿線情報紙「のせでん」係  
■締め切り／2011年10月31日必着

お便り紹介 ●「出会いの鐘伝説」を知り、鳴らしに行ってみたいな…と思いました。(猪名川町K様)  
●「近くでチチ旅行気分」で行ける能勢に「夏」を楽しむに出かけてみたいと思います。(東淀川区N様)  
※前号の「のせでん」クイズのたこえは、問題1-C、問題2-Aでした。たくさんのご応募ありがとうございました。  
【個人情報のお取り扱いについて】皆様からいただいた個人情報は、ご応募いただいた賞品の発送のために利用させていただきます。お預かりした個人情報は、能勢電鉄株式会社が責任を持って保管し、一定期間を経過した情報は廃棄いたします。

答えて当てよう!  
のせでん  
オリジナルグッズ

